

今までありがとう いやしの宿 閉館へ

これまでお世話になりました。利用者さんとスタッフの声ををご紹介します。



顔を合わせて集まれる大好きな場所です

早川 みさ子さん（宮内）

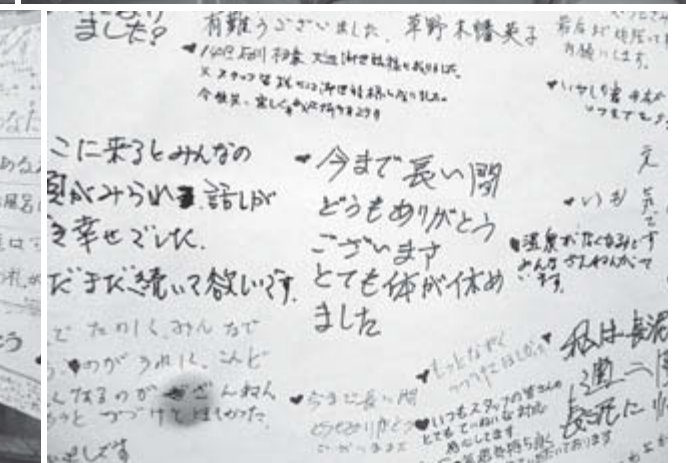
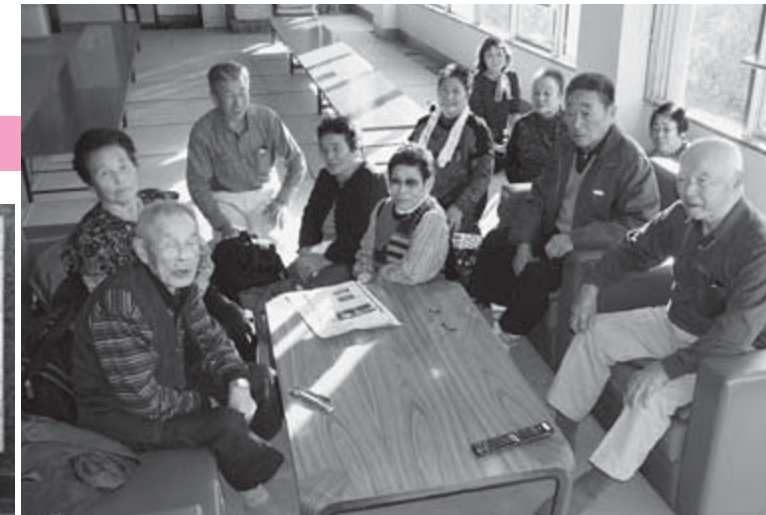
「長引く避難生活でどうしても寂しい時があって、そんな時に顔を見て話し合えるいやしの宿があって、本当に助かってきました。同じ村で生活していても会ったことがない人とも、出会うことができたのもこの宿のおかげです。閉館するのは本当に残念で寂しいけれど、この宿での出会いを大切にしていきたいです」



お茶飲みに来れる場所を目指して

スタッフ 佐藤 勝見さん（前田）

「場所が分からない村民のために迎えに行ったこともありました。村にいた頃のように、気軽にお茶飲みに来られるような場所になったのかなと思っています。北海道や九州などに避難している村民が宿泊したり、村にボランティアに来てくれた人が使ったりして、たくさんの方がまさに裸の付き合いをしていました。利用してくれたすべての人に感謝しています」



▲多くの村民の方に利用されてきたいやしの宿。閉館に対してたくさんの感謝の言葉が寄せられています

いやしの宿いいたての歴史

- 平成23年 9月12日 … いいたて溪泉荘として開所。当時はスタッフ4人でスタート
- 29日 … 村民利用者カードがスタート
- 10月 3日 … 仮設住宅からの送迎バスの運行を開始
- 平成24年 4月19日 … 村民利用者カード2000番達成
- 8月20日 … 借り上げ住宅や、雇用促進住宅・各自治会の送迎バスの運行を開始
- 平成25年 1月19日 … 村・飯坂町商工会の協力で初のイベントを開催。焼きそばや豚汁の屋台などがあり、多くの村民が来場
- 11月21日 … 利用者5万人を達成
- 平成26年 1月25日 … 村・福島市飯坂町・鹿沼市の有志による合同イベントを開催

いやしの宿いいたて 皆様のご利用をお待ちしております

いやしの宿いいたての利用について改めてご案内しますので、閉館前にぜひご利用ください。

- 閉館日 … 平成28年2月8日（月） ※2月7日が宿泊利用最終日
- 入浴時間 … 午前6時～午前8時 / 午前11時～午後10時
- 利用料 … 日帰り無料 ※宿泊は1人1泊 1,000円
- 送迎バス … 利用無料
- ところ … 「いやしの宿いいたて」（福島市飯坂町西堀切25）
- ☎ 生活支援対策課生活支援係（☎024-562-4249）
- いやしの宿いいたて（☎024-543-0661）

避難生活の中で 憩いの空間を

全村避難の中、多くの村民に利用されてきた「いやしの宿いいたて（福島市飯坂町）」が施設の老朽化に伴い、平成28年2月8日をもって閉館します。いやしの宿は、平成23年9月12日に避難生活の不便さを少しでも癒すことを目的に開所しました。開所当初から村民の個人利用はもちろん、行政区の総会や芸能団体の練習場として利用されてきました。また、県外に避難している村民が一時帰宅する際等にも、宿泊で利用されてきました。

閉館を惜しむ声 多く寄せられる

仮設住宅等からの送迎バスの運行もあり、平成25年11月21日には、利用者が5万人を超えました。村民が避難先で作った部屋飾りを持ち寄るなど、親しまれてきた一方で、施設の老朽化が進み、惜しまれながらの閉館が決まりました。



▲村内外の団体のイベント会場にもなりました



▲開所当初は「いいたて溪泉荘」としてスタート